# O W A S E

誇れるまち お来につなぐ

三重県 尾鷲市 市制60周年記念 市勢要覧 2014年度



# おわせ 共に創り

はの中央に位置し、北は北牟婁郡紀地の中央に位置し、北は北牟婁郡紀北町、南は熊野市、西は大台山系を境に奈良県に接し、東は太平洋(熊野灘)に臨んでいます。温暖多雨な気候と黒潮によって古くからその自然の恵みを受け、漁業、林業が栄えてきました。また、漁師町ならではの郷土食や伝統文化も色濃く残り、地域の人々を結ぶ懸け橋ともなってい地域の人々を結ぶ懸け橋ともなっています。

昭和29(1954)年6月20日に北牟婁郡尾鷲町、須賀利村、九鬼北牟婁郡尾鷲市が誕生し、平成26が合併して尾鷲市が誕生し、平成26が合併して尾鷲市が誕生し、平成26がな自然、歴史文化を地域の資源として活用して、「共に創り、未来につなぐ、誇れるまち、おわせ」をめざし、尾鷲市の人々や尾鷲を愛すめざし、尾鷲市の人々や尾鷲を愛する人々と共に未来へと歩み続けます。





### 尾鷲市 市章

「オ」と「鷲」を図案化。大空にはばたく大鷲は市運の上昇・飛躍・発展を意味し、全体の円は円満和合の相を示しています。



# 市の鳥アオサギ(繁栄)

尾鷲湾内の佐波留(さばる)島で生息。アオサギの繁殖は、尾鷲の海の豊かさ、きれいさの象徴でもあります。



# 市の木

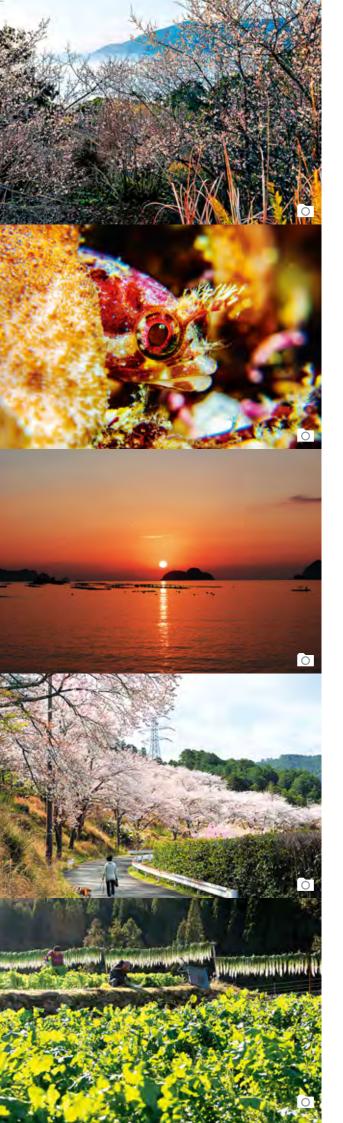
ヒノキの育成や製材技術は、尾鷲 市の伝統産業。尾鷲ヒノキは年輪 が緻密で耐朽性にも優れていると 高い評価を得ています。



### 市の花

ヤブツバキ情熱

冬から春にかけて咲き、主に沿岸部に自生しています。濃い緑の葉と赤い花の組み合わせが南国的で尾鷲の温暖な気候にもよく合います。





# 共に創り 未来につなぐ 誇れるまち おわせ

温暖な気候と黒潮によって 古くから自然の恵みを受け、栄えてきた尾鷲。 その豊かさを表す「食」と まちを支える「おわせ人」の共創により、 まちはさらに輝き、未来へとつながっています。

尾鷲の道

尾鷲市の6年を辿る 暮らす、旅する尾鷲MAP 生き続ける祈り 熊野古道

郷土と文化

四季旬宴 郷土でつなぐ

水でつなぐ 山でつなぐ

自然の恵み

23 23

25

子どもを育み心豊かに暮らせるまち

安全・安心/市民参加 共に支え合い暮らせるまち いきいきと快適に暮らせるまち

ライフライン・施設

0 「四季の尾鷲フォトコンテスト」入賞作品…市制施行の周年記念

# おわせ人の暮らし

健康・福祉







尾鷲では漁師町らしく、市内のあちこちで、魚屋や店 先で干している干物を見ることができます。

### チダイ。秋のアオリイカ、タチウオ。 長い間寄り添い、共に生きてきた海 守ってきました。おわせ人にとって、 まざまな形で人々を支え、癒し、見 磯釣りの遊行地として…など海はさ 身近な存在でした。他にも海水浴や 陸路以上に海上交通が生活道として 険しい山に囲まれたこの地においては 多彩な魚介に恵まれています。また、 冬はブリ、サンマなど四季を通じ、 では春はカツオ。夏ならマアジ、メイ れています。リアス式海岸の沿岸漁 豊かな海を背景に漁業が盛んに行わ 位置する尾鷲市では、 紀伊半島の南部、 母のような存在でもあります。 熊野灘沿岸に 黒潮の流れる

# マグロの水揚げ

新しい冷蔵方法や高鮮度処理により、高品質のマグロの水 揚げが増えています。尾鷲ブランドとして流通すると共に、新 たな特産品開発など産業振興につながっています。

らも、 み業の未来をつくり出しています。 も始まり、 います。 る養殖業や定期的なマグロの水揚げ 郷土食も尾鷲には色濃く残っていま した地域ブランドの確立を促進して 工技術や、 また限りある水産資源を守りなが 尾鷲市では、そうした食を軸に 新たな取り組みにより成長す 漁師町ならではの伝統的 新たな尾鷲のファンとう

# 次世代のうみ業





「つくり育てる漁業」として安 全で安心な養殖技術やエサの 改良により、養殖が盛んです。 特にマダイは尾鷲マダイとして 広く知られています。



## 養殖業



業の現場や漁師町での牛 、る漁業と地方で働きた 「者とを結ぶ取り組みを います。短期間でも

塩辛、

さらには「あぶり」などの加

豊富な漁獲に支えられ、

干





スキューバダイビングが楽しめる人気のスポッ トとしても知られています。魚の種類が多く、色 とりどりのソフトコーラルも美しいと評判です。



豊富な雨に育まれた「尾鷲ヒノキ」

# 夢古道の湯

みえ尾鷲海洋深層水を利用した温浴施設。保温・保 湿に優れ、美肌効果も期待されています。露天風呂か らは尾鷲湾と天狗倉山の絶景を見ることができます。

## 移行、 ちが育ててきた山を手入れし、 えるよう取り組んでいます。 豊かにすることで尾鷲ヒノキの伝統を 製品づくりなども盛んです。 に長伐期大径化を図り内装材生産 現在はより付加価値を高めるため 地域の環境と産業を未来へ伝 尾鷲ヒノキの魅力を活かした 先人た

今も多く出荷しています。

から関東圏との取り引きが行われ、

前に人工造林が始まったとされていま

海上交通の利便性によって古く

市の林業の歴史は古く、

約380年

木として全国的にも有名です。

尾鷲

は

鮮やかな赤みと強靱な良質の材

新たなやま業をつくる



# 尾鷲ヒノキ製アオリイカ産卵床

水産資源の増大と山林資源の有効利用、ダイバーの見どこ ろ創出を目的に開始。藻場に産卵するアオリイカの産卵床を ヒノキの間伐材で作っています。

の産業への関心を高め、 活性化するよう取り組んでいきます。 ります。 を作る体験も好評です。

### 木を削り、世界でひとつだけのマイ箸 に林業の未来を守るため、間伐材な れる尾鷲市ですが、 剤やたわしなどの商品づくり。 どの新たな活用方法を模索していま 不足などにより、 日本の林業の始まりの地ともいわ 香りや殺菌作用を活かした入浴 木材の需要の減少や担い手 豊かな森を守るため、 林業は衰退しつつあ 全国での傾向と 自ら

# 尾鷲産材活用促進事業

地元産材の活用促進と市内木材産業の振興を目的に市内に住 宅を建てる人を支援。ヒノキやスギなどの地元産材を活用した住 宅に対し、補助を行います。



よりやま業が 環境や地域

夢古道おわせ内では、地元





尾鷲ヒノキは、雨が多い地域で、かつ地形 が急峻であるために、年輪が緻密で耐朽 性にも優れ、つやのよい良質な木材です。



## 海洋深層水を使った商品

天然のミネラルを豊富に含んだ海洋深層水は、食 品、美容、医療、農業など多くの分野で活用され、 地域振興の起爆剤となっています。

トの他、

近年では陸上養殖の試験研

した温浴施設、

商品づくりやイベン

究など新たな事業に向けて取り組ん

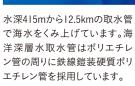
まだまだ多くの魅力と

可

域振興の中核を担っています。 能性を秘めた尾鷲市の宝として、 じめ幅広い分野での研究・活用が進 に優れた海洋深層水は食品分野をは

められています。海洋深層水を利用

水深415mから12.5kmの取水管



ら海洋深層水を取水しています。 木埼沖の尾鷲海底谷水深415mか 深さにある海洋深層水。尾鷲では三 深く、 低温安定性・富栄養性・清浄 太陽光の届かない水深200mよ 表層の海水とも混ざらない 性



## アクアステーション

海洋深層水取水・分水施設としての役割だけでなく、 深層水に関するパネル展示や体験学習セミナーなど も行い、交流の場としても活用しています。



深層水フェスタ

アクアステーションで魚のつかみ取りや深層水当てク イズ、無料お試し分水などがあります。



旧古江小学校校舎を活用し、塩づくりを行 う「モクモクしお学舎」など深層水の特性 を活かした事業が広がっています。



め、料理教室やイベント

වමවන

自然の恵み

9

# 大海の恵みをいただく

広げています。

日々新たな可能性を

海洋深層水はまちを潤し

清き海からの宝であ



















# まちの駅

地域の情報を発信する案 内所、人が集える寄り合い 所、トイレの利用などができ る休憩所など県下最多24 の駅で、おもてなしの心と 共に来訪者を迎えます。

漁師まちの誇りと人情を

伝える風景

風景は今も変わることな の様子が歌われ、その 漁や海山と生きる人々 朝日を受けて網を引く と尾鷲節。尾鷲節には、 ムは「ヤサホラエー♪」 く受け継がれています。 お昼を知らせるチャイ

えてきます。

あふれる尾鷲弁もあちこちから聞こ り?」「何しいよんど」など茶目っ気 物や煮付けの匂い。「来いま」「や 村の町並みを歩くと、吊るされた干 い路地にぎっしりと家が建ち並ぶ漁 林と廻船業で財をなした古民家や細

尾鷲市のファンづくりにも一 とに届く特産品は好評で、 |感じてもらいたい!| と始め

こ、尾鷲をまるごと味わい

季節のイベントなども紹介 の他、地域でがんばる人や

たまちおこし通販。季節ご

ヤサホラエー ヤサホラエー 浦で五丈の網を引く ノンノコサイサイ 尾鷲よいとこ 朝日を受けて ヨイソレ

ヤサホラエー ヤサホラエー

ままになるなら あの八鬼山を ヨイソレ





国市の国市様の夜ごもり





人情と心意気があふれています。山

今も自然と共に暮らすまちには、

# 尾鷲まるごと

商工会議所、観光物産協

産者が「尾鷲の旬の特産品 会、事業所など30余りの生







# 郷土食を守り伝える

サンマ寿司や押し寿司などの郷土食の継承や、尾 鷲元気プロジェクトにおける三木里の郷土食レシ ピ本及び早田での地元産材を使用した笑顔食堂 のお弁当作りの活動等が行われています。

> 九鬼では、地域の「食」を活かすため、 地域の食材を使った食事の提供を行 う施設を地元の人と創りあげています。

# 都市と地方、人をつなぐ

り発展してきましたが、

地域

尾鷲市は水産業、

当たり前だった郷土の味やまちなみ、 の変化や過疎高齢化などが課題と み込み型の長期インターンシップや地 が行われています。大学生による住 気にするよう、さまざまな取り組み なっています。そのため、地域を元 林業などによ 市外の方の力 地域にとって 産業の状況 後も地域とおわせ人をつなぎ、 文化、教育、健康について取り組む PRする「食で攻める」と、 市全体の活性化をめざします。 人づくり」に重点を置きながら、 市外の尾鷲市のファンも含め「おわせ 域を支える人、産業を支える人、 推進。将来の尾鷲市を担う人、 「食で守る」という食のプロジェクトを また市も「食」を通して尾鷲市を

を借りたまちおこしは、

尾鷲

おこし協力隊など、

まちを活気づけています。 そして住民の方々にスポットをあて



地

## 干物づくり体験

熊野灘に育まれた新鮮な魚でつくる干物はおわせ 人の郷土食。コツさえ覚えれば自宅でも干物づくり が気軽にできます。



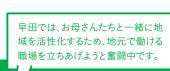
## 空き家プロジェクト

地域外の人材を積極的に

行が著しい地方において、

誘致し、その定住・定着を

空き家の活用をめざして、尾鷲市に定住・ 移住を希望し、物件を探している方に向 け市内の空き家情報を発信しています。



に汗をかきながら奮闘して



けこみ、地域の皆さんと一緒 やってきた若者が地域にと す。尾鷲市でも、都会から を目的に取り組んでいま 持・強化を図っていくこと に応えながら、地域力の維 地方で生活したい』「地域 図ることで、「都会を離れて 4会に貢献したい』「人との **总欲ある都市住民のニーズ** ながりを大切にして生き い」「自分の手で作物を いきたい』「自然と共存し

# 協力隊 人口減少や高齢化等の進





郷土と文化

# 郷土でつなぐ たくさんのおわせ人が地域を支え、 まちを愛してくれる人、 そんなまちで育った人 おいしい」「あたたかい



# 須賀利地区

平安時代には、製塩土器が出土している元須賀利で生活 していましたが、外海に面し南の風波を直接受ける位置に あるため、住民は現在の須賀利や島勝に移りました。山に 沿う集落と真っ青な空と海の美しさはまさに日本の漁村 の原風景であり、にほんの里100選にも選ばれ、映画の口 ケ地にもなりました。



その魅力を発信しています。



## 九鬼地区

九鬼水軍発祥の地として名が知られ ていますが、城跡はすでになく、水軍 関係の遺跡を見ることができません。 しかし、九木神社(樹叢が国指定天然 記念物)境内には九鬼嘉隆の孫にあ たる丹羽綾部の隆季と摂津三田の隆 張が寄進した石灯籠があります。ま た、江戸時代紀州藩営の捕鯨を行っ ていたことを示す石灯籠もあります。

## 早田地区

早田は1601(慶長6)年の当時は7軒と いう記録があり、その後、良好な漁場 のある漁港として戸数も増えていきま した。また、その当時は、熊野灘は海の 難所として船乗りから恐れられてお り、台風によって船が壊れたり、漂流し た場合、早田に入港することが多かっ たようです。







## 古江地区

古江は、昔から漁業が盛んで漁業のまちとして栄えてきました。現在、漁業は衰退しましたが、海洋深層水の取水施設「アクアステーション」や南海トラフの地震・津波を常時観測監視するため地震・津波観測監視システムが設置され、今も海との結びつきは深いものとなっています。



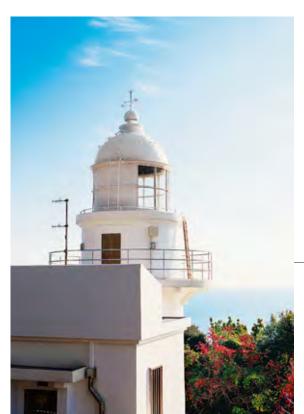
### 賀田地区

賀田の名前の由来は古川河口にできた干潟の「潟」といわれています。熊野古道の羽後峠には見事な猪垣があり、当地方最長といわれ、総延長は5,000mにもなります。また、樹齢300年といわれる栃の木がたくさん自生する栃の森があります。



### 曽根地区

曽根には郷土資料館など、歴史を伝えるものが多くあります。縄文式の遺跡がある曽根遺跡、飛鳥神社と大楠、現在の城山公園になっている浄の城(曽根城跡)、熊野古道の曽根次郎坂・太郎坂等があります。



### 梶賀地区

梶賀は古式捕鯨を伝えるハラソ祭りや、小サバ・アジなどをサクラやウバメガシで燻製に焼きあげる保存食として伝えられてきた郷土食「あぶり」等伝統が守られてきています。



### 三木里地区

三木里は、江戸時代にお伊勢参りから熊野詣に行く際に、西国一の難所といわれた八鬼山を越えた人たちが宿をとるまちとして、常にだったようです。現在は、約1.4kmの三木里ビーチがあり、夏になると多くの観光客でにぎわいます。



# 三木浦地区

三木浦は、戦国時代4度も戦場になったことがあります。現在の三木里から九鬼を治めていた三鬼新八郎が三木浦に城を構え、その本丸跡が今の三木小学校の敷地といわれています。現在は、鯛の養殖も盛んで、また、ダイビングスポットとしても有名です。断崖絶壁の三木埼や、その三木埼に行く途中の三木埼灯台、ヤブツバキの景色も楽しむことができます。

# 黒の浜の潮干狩り

大きなアサリが捕れると評判。浜辺 からは、湾内に浮かぶ弁財島を間近 に眺めることができます。



## 浄の城つつじ祭り

標高180mにある浄の城(曽根城 跡)と城山公園で行われる祭り。 約2,000本のムラサキオンツツジ が自生しており、開花にあわせ地 域イベントも開催されます。



3月 尾鷲 おひなさままつり



浄の城つつじ祭り

スルメイカ



海と共に歩む尾鷲の四季は、 豊漁と安全を祈る祭りや 多種多様な海の幸などを 楽しむことができます。



郷土と文化



アカカマス



三木里ビーチ海開き



8月 おわせ港まつり

ケンサキイカ



## おわせ港まつり

花火大会はもちろん、尾鷲イタ ダキ市や子ども向けの魚つかみ 大会、カッター競技大会に尾鷲 節や太鼓演奏など朝から夜まで 尾鷲の夏を楽しむことができる お祭りです。





のハラソ祭り、

豊漁を祈願する早田

の

船

上神楽や九鬼町の

鰤 祭り。 身

います。捕鯨の歴史を伝える梶賀町

ならではの祭りが、今も伝えられて

ます。

特に海と共に歩んできたまち

旬の味、

お祭りなどを通じ、

年中、

情熱の色で染め上げられ

## ヤーヤ祭り

毎年2月1日から5日間行われる豊漁と 豊作を祈願する奇祭。300年以上前か ら続くといわれる尾鷲神社の例祭で、 男衆が激しく押し合う「練り」や子ども も参加する華やかな大名行列と道中手 踊りや神楽なども行われます。

アカザエビ

ブリ

ヤーヤ祭り 尾鷲磯釣り大会

ハラソ祭り にらくら祭り

サンマ

旬を彩る美味と祭事

全国尾鷲節コンクール おわせ海・山ツーデーウォーク

タチウオ



# 全国尾鷲節コンクール

を清めるために裸で冷たい海に飛び

込む「垢離かき」も行われ、人々にとっ

尾鷲神社の例祭ヤーヤ祭りでは、

あることがうかがえます。

て海が神聖で、かけがえのないもので

全国から尾鷲節の愛好家たちが集まり、民謡 「尾鷲節」の歌い手日本一を決定します。

## 八幡神社例祭

八幡神社で豊漁や豊作、海上安全を祈願す る祭り。各町の子どもが中心となり、尾鷲節 や歌謡曲に合わせた振り付けで練り歩く道 中手踊りや神楽、伝統的な大名行列などが 行われます。







いにしえから神々が宿る紀伊の山への信仰と 文化の足跡が道には残っています。



曾根次郎坂· 太郎坂

●甫母峠

### 八鬼山道

羽後峠

西国ーの難所といわれ、つづら折の険しい道です。史跡も多く、絶景も望めますが、かつての巡礼者の苦労も感じさせられます。



## 曾根次郎坂·太郎坂

「曽根の自領と他領」がなまってそう呼ばれるよう になったといわれています。古道では美しい石畳 や猪垣などに出会えます。



## 三木峠羽後峠道

階段状の石畳が残っており、苔むした岩石の転がる涸れ川と共に、古道気分が満喫できます。猪垣の長さは、当地方で最長。

善芸むす石畳道、ヒノキの と出す熊野古道の風情を醸 をの取り組みの他、ボラン をの取り組みの他、ボラン られ、維持管理が行われて られ、維持管理が行われて られ、維持管理が行われて います。巡礼者をもてなし います。巡礼者をもなし かます。巡礼者をしてなし た先人たちの思いをこれから も受け継ぎ、貴重な尾鷲の も受け継ぎ、貴重な尾鷲の

交った歴史を持っています。す道として多くの人が行き登場。伊勢神宮から熊野三山

の読み物「方言修行 金草鞋」にも 伊勢を起点として熊野へ向かう熊 野古道のうち、市内で世界遺産にあ 野古道のうち、市内で世界遺産にあ 野古道のうち、市内で世界遺産にあ 野古道のうち、市内で世界遺産にあ

といい、そこに生きる人々の歴史や

が生み出す景観を文化的景観

ています。自然だけでなく、人とのて世界遺産(文化遺産)に登録されの参詣道は、貴重な文化の足跡としえ、流れるように山肌に延びる石畳え、流れるように山駅に延びる石畳

# 歴史と文化を結ぶ参詣



世界遺産「熊野古道」の魅力を模型や映像などで紹介。建物は尾鷲ヒノキの原木約6,500本が使用され、訪れると、木のよい香りに癒されます。





暮らすも旅するも心地いい。 人山海 のあった。 たたかさと活気に満ち か か ええばば 熊朝 野古が

道輝



### 尾鷲の道



トチの森





尾鷲の道

昭和29年、県下で9番目の市として誕生した尾鷲市。 海山と共に生きるまちの中で おわせ人たちは、さらに輝く未来へ歩みます。

三重県遠洋漁業基地として、尾鷲港 北牟婁郡尾鷲町・須賀利村・九鬼村 尾鷲港が遠洋漁業基地に指定される 国民健康保険を実施 市消防本部設置、常備消防体制整う 初代市長に畦地衷市氏当選 南牟婁郡北輪内村・南輪内村が合併 「尾鷲市」誕生

市章制定

昭和30年

2月10日

7月1日

が鰹水揚港に指定される

8月25日 4月1日 8月4日 7月23日

4月1日 4月23日

国道42号が1級国道に昇格 紀勢本線九鬼~三木里間開通 紀勢本線大曽根浦~九鬼間開通

月12日

201

「尾鷲市立天文科学館」完成

昭和29年

6月20日



建設当時の現市役所本庁舎(土井基夫氏撮影)



尾鷲市誕生時に役所として 使われた尾鷲町役場 (土井基夫氏撮影)

昭和 29年

	平成18年		平成17年			平成16年		平成14年			平成13年			平成12年			平成11年		平成10年	平成9年			平成8年		平成6年			平成5年		平成4年			平成2年	
	3 月 31 日		1月16日		7月7日	6月20日		9 月 18 日	11 月 22 日		4月6日	8 月 28 日	3 月 26 日	3月1日	10月1日	4 月 18 日	3 月 27 日		12 月 25 日	7月26日		11月6日	4 月 20 日		5月18日	5 月 30 日		4 月 24 日	10月25日	4 月 20 日		10 月 24 日	10月1日	
ステーショ	海洋深層·	のど自慢」	市制施行	が世界遺産	熊野古道	市制施行	開通	国道31	国道311	道」として	熊野古道	福祉保健力	市長に伊藤	紀北広域連	尾鷲ヒノキ	東紀州体験	輪内高齢者	間に施工会	近畿自動	尾鷲ひのき	に選ばれる	八鬼山と	尾鷲総合病	で発足	東紀州活	大曽根公園	竣工	尾鷲市民卒	八鬼山トン	三木里野魚	立天文科党	ふるさと创	尾鷲市民害	市の魚:ブ

憲章制定 園竣工 ジ」完成 50周年を記念して 水取水・分水施設「アクア 座に登録 ロサービスセンター竣工 車道紀勢線尾鷲市~紀勢町 馬越峠が歴史の道100選 性化協議会が県と8市町村 剧生1億円事業で、 り(準指定魚:ガシ)を公示 ンター竣工 ペフェスタ開幕 文化会館(せぎやまホール) ネル開通 周年式典開催 世界遺産暫定リストに登載 の小径とマリンロード完成 館」完成 紀伊山地の霊場と参詣道 允久氏が当選 合介護保険センター竣工 内装材加工協同組合竣工 プレカット工場竣工 院新棟竣工 号曽根・梶賀バイパス開通 号早田・三木浦バイパス 「紀伊山地の霊場と参詣 NHK 「尾鷲市

昭和36年 昭和43年 昭和35年 昭和44年 昭和37年 2月 2月 9月10日 6月17日 9月26日 7月15日 2月14日 4月1日 4月27日 4月1日 12月4日 8月31日 5月24日 6月1日 4月1日 11月6日 尾鷲三田火力発電所、東邦石油の合 市長に岩城梯氏が当選 町1カ所で山崩れ、死者26人 の降水があり、賀田町3カ所、 三重県南部集中豪雨で1092ミリ 三重紀北消防組合設立 尾鷲総合病院竣工 カナダのプリンス・ルパート市と姉妹 体育文化会館・市立運動場竣工 尾鷲港が重要港湾に指定される 国道42号矢ノ川トンネル貫通 尾鷲港が出入国管理港に指定される 県立尾鷲工業高等学校創立 尾鷲第1・第2水力発電所竣工式 市庁舎完成 チリ地震津波が来襲 都市提携 尾鷲港が開港指定を受ける 同完成式 北山道路尾鷲〜池原間が開通



昭和60年

6月8日 6月20日 4月1日 6月19日 6月20日 3月31日 6月10日 10月2日 10月1日

第1回尾鷲総合物産展と全国尾鷲節 県道須賀利港相賀停車場線開通

コンクール開催

通所授産施設「紀北作業所」竣工

尾鷲市立中央公民館竣工 長野泰一博士を名誉市民に推挙 尾鷲市塵芥焼却場完成 尾鷲消防署庁舎竣工 市長に長野勝明氏当選

昭和62年

6月6日 4月17日 6月19日

市制35周年を記念し、市の花:ヤブツバ

キ、市の木:ヒノキ、市の鳥:アオサギ

市長に杉田晴良氏当選

尾鷲三田火力発電所3号機運転開始

市制60周年記念式典開催



·尾鷲北IC)開通



7月15日

紀勢本線が全線開通

平成19年

1月24日

4月27日

2月9日

「三重県立熊野古道センター」完成

し尿処理施設「クリーンセンター」完成

夢古道おわせに「地場特産品情報交

熊野古道「紀伊山地の霊場と 参詣道」が世界遺産に登録

7月6日

中国大連市金州区と友好協力都市提携

流センター」完成

平成20年

3月23日 3月10日

4月11日

海洋深層水活用型温浴施設 市長に奥田尚佳氏が当選 矢ノ浜浄水場新施設完成

「夢古道

の湯」完成

昭和47年

尾鷲地区広域行政事務組合設立

5月17日 3月21日

3月30日

平成26年

9月29日

Cまでつながる

5月13日

6月22日

7月7日

3月20日 4月1日

近畿自動車道紀勢線

(海山一〇~尾

念物に指定される

鷲北IC)開通

皇太子殿下が地方事情視察により、

早田コミュニティーセンター完成

第6次尾鷲市総合計画」開始

皇太子殿下が地方事情視察により、

二重県立熊野古道センターを視察

5月19日

馬越峠を視察

泊一〇開通

新桂山配水池が完成し、 供用を開始

古江

4月20日

熊野尾鷲道路尾鷲南~三木里間開通

7月26日

市長に岩田昭人氏が当選

「須賀利大池及び小池」が国の天然記

1月24日

熊野尾鷲道路(三木里—C~熊野大

近畿自動車道紀勢線(海山ーC~紀 伊長島一〇)開通により、

尾鷲北一

市制6周年を記念して、せぎやまホー

熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣 道」として世界遺産登録10周年を迎 ルで記念式典開催

22

# 健やか





**健康づくり** 地域資源を活用しながら

ことで市全体の健康寿命を延ばして みを展開。それぞれのライフステー 関・団体、行政がそれぞれの機能 ジに応じた支援を効果的に実施する トワークの強さなど、地域の特性を を十分に発揮し、独自の風土やネッ ことを核として市民を中心に関係機 活かした健康づくりに関する取り組 尾鷲市では「地域力を活かす」

生活習慣病などへの取り組みを目的 組織として、尾鷲健康増進の会 (Owase Health Promotion Party 通称 Owase HAPPY) を創設。 まずは健康づくりの基盤となる ココロとカラダの健康増進ウォー



づくりを実践すること 組織団体と共に健康 組みなど、市民、各 の分野が連動した取り

「健康のまち尾鷲

をめざしていきます。

教育、

文化、食など

康教室への参加による キング推進事業や健

「健康づくり」、また

### 尾鷲総合病院

東紀州地域の中核病院としての役割を担い、 医師・看護師の確保や地域ニーズに合った病 院機能の充実を図っています。



グラウンドゴルフ大会

健康寿命を延ばすために各地 区で健康体操・健康教室等を 実施。さらに、災害時に避難す るための体力づくりにもつな がっています。







### 健康ハッピーデー

尾鷲健康増進の会開催の健康イベント。健康測定や医師による相談会、健康食の提案など盛りだくさん。 健康について楽しく学び、考えることができます。



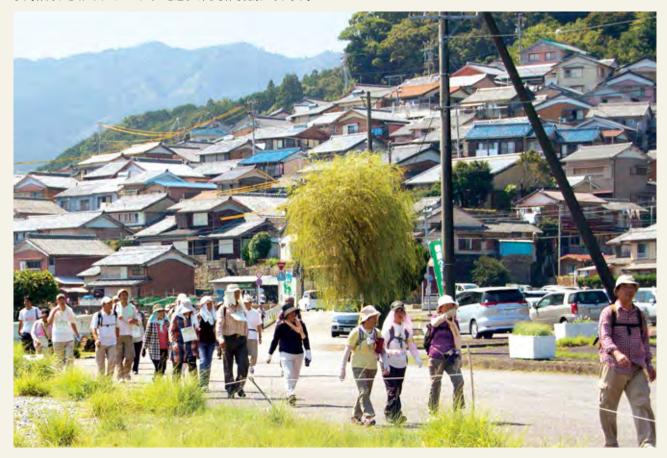
### 地域包括ケア ネットワーク

高齢者が住み慣れた地域 で安心して暮らすことがで きるよう、包括的かつ継続 的な支援について、家族、関 係機関、地域の連携・協働 をめざします。



### ココカラ健康ウォーキングデー

まち歩きのコースを中心に、季節を感じながら尾鷲のよさを楽しむことができます。仲間や地域の人々とのふれあいを通じて、心も体も健康になれます。



まち

# 暮らせる

# 子どもを



守り育てる

未来のおわせ人を



すいまちづくりを進 り」に取り組んでおり、 てしやすいまちづく 少対策として「子育 市民と共に子育てしや 尾鷲市では人口 少子化対策、定

いけるように取り組んでいます。

住移住施策につなげて

推進していきます。 尾鷲を愛す「おわせ人づくり」を のもと、尾鷲で育ち、尾鷲で学び、 の魅力」と「子育てしやすいまちづ 制をつくります。「地域の魅力」「人 のもと、世代間の交流やつながりの くり」を連動させ、 しています。特に尾鷲の豊かな自然、 子どもの「学び場づくり」を推進 再生を図りながら、地域における まれていく存在であるという考え方 子どもたちの学びと育ちを支える体 歴史、伝統文化など地域資源を最 大限に活用しながら、地域ぐるみで 子どもたちは地域社会全体で育 市民との共創



### 子育でまちづくり座談会

子育てをしている方やまちづくりをされている方、結 婚や仕事などで本市へ移住・定住している方などで 意見交換をし、尾鷲の子育てについて考えます。





魚のおろし方も体験できる尾鷲魚まつり

# 子育て支援センター

二保育園内に開設。育児相談 や親子教室、園庭開放など、親子や地 域とのコミュニケーションの場としても 気軽に利用できます。



学校教育施設等の耐震整備

次代を担う子供たちを地震・津波から守るために保育園、幼稚園、小・中学校の改築・移転を行っています。





### ふるさと教育

自然と伝統文化、歴史が育んだ郷土食の調理 実習や地場産業の現場の見学など、地域資源 を活かした教育で郷土愛を育てます。



### 学びのサポーター

子どもたち一人ひとりの確かな学びと豊かな育ちを保障していくために、学習面や 生活面での支援を行います。



### 防災教育

巨大津波の襲来に備えて、児童・生徒に「自分の命は自分で守ることのできる知恵」をつけることを目的とした津波防災教育を実践しています。

# 支え合 暮らせる





が重要となります。い 行政機関の初動対策 立する可能性が高く 陸路が遮断され、孤

ざという時のためにも、 団員の確保など、安全で安心な対 策や地域における消防 市民参加による防災対

応ができるよう取り組んでいきます。

る地域社会のなかで性別や年齢など まちづくりをめざします。多様化す るまちづくりを進めるため、広報や めることが大切です。市民参画によ ける「自助・共助・公助」による パブリックコメントを実施するなどし え合いや助け合いなど地域の絆を深 政が共に地域課題について考え、支 また市民生活においても市民と行 情報の共有化を図り、地域にお

# まちづくり 助け合いから

尾鷲市は災害の際、



### 防犯用ホイッスルの配布

新小学生に防犯用のホイッスルを配布 し、家族と共に防犯への啓発を図り、地 域ぐるみの防犯活動を強化しています。



が人として相互に尊重し合うよう取

まざまな活動、交流を通じて、 を超えて、市民が快適に暮らし、さ

り組みます。

防災フェア

### 自主防災

災害についての知識を得て、協力 ていくことの大切さを知っても うために、夜間の訓練やリア カーを使用するなど、各地域に合 わせた避難訓練を行っています。





### 防災訓練

市民参加型の市民総ぐるみの防災訓練や 関係機関が一体となり合同で開催する防 災訓練を実施。連携の強化や実働訓練を 通じて、防災に関する意識・知識・行動力 を高め、総合防災力の向上を図ります。

# 社会を明るくする運動

犯罪や非行のない明るい 社会を築くため、市民一人 ひとりが犯罪や非行、人権 問題について啓発し、明る い地域社会づくりを進め ています。







### 市民の窓口

庁内の連携を促進し、総合窓口でのワンストップ化を図ることで、サービスの効率的・効果的な提供を行います。



### 議会

議員は選挙によって選ばれ、市民の代表として議決権、調査権、監査請求権などの権限が与えられ、これらの権限に基づいて活動しています。



や生活排水など環境対策に、 減量や資源回収などの廃棄物対策 りのもと、多様な主体の連携とごみ には、自然環境への保全意識の高ま できるまちをめざします。そのため いきいきと自分らしく過ごすことが 目線に立ったまちづくり 自 然豊かできれいな海、 市民の皆さまがいつまでも Щ Ш

住む人・訪れる人の

整備、市民の移動手段の確保など、 設整備、老朽化した橋等の耐震化 保育園・コミュニティセンター等の施 をつくるため、耐震対策として学校 などの災害に強く快適に暮せるまち 適切に対応します。 また、大規模地震・津波や豪 雨

さらに、地域資源を活かしたまち

た整備を行ってい 地域の実情に沿る 業の振興のため、



### 新桂山配水池

角型ステンレス鋼板製配水池として、厚生労 働省の施設指針に基づく配水池基準容量を 確保しています。これにより、安全・安心な水 の安定供給と、地震対策の強化で災害時の 給水拠点となっています。



### 近畿自動車道紀勢線と 熊野尾鷲道路

防災、医療、産業を支える命の道と もいえる道路が開通しました。現在 は尾鷲北ICと尾鷲南ICをつなげる 工事が行われています。

### ふれあいバス

市民のバスとして、生活に 重要な移動手段となってい ます。手すりとステップも設 置され、より多くの方が利 用しやすくなりました。



とりの取り組みも必要です。

### クリーンセンター

クリーンセンターは、尾鷲市のし 尿・浄化槽汚泥の処理・再資源 化を図ることで、美しい自然環境 を守り、快適で衛生的な暮らし を維持しています。







三重県尾鷲市中央町10番43号 TEL.0597-23-8132 http://www.city.owase.lg.jp/ 平成27(2015)年3月印刷

### ■ 車でのアクセス



### ■ 電車でのアクセス



### ■ バスでのアクセス

名古屋 名鉄バスセンター 三重交通名古屋南紀高速線 尾窓 約2時間45分(特急)/約3時間(急行) 驚

